

月にみがきて



更級小学校だより No 5

H24. 8. 23

957名泳ぐ



7月30日(月)～8月10日(金)までの8日間、暑い夏を吹き飛ばすように水泳が行われました。低学年の子どもたちは25mを10回以上で250m、高学年の子どもたちは25mを20回以上で500mは最低泳いでいるようです。普段の水泳授業では、泳法を学び習得する練習が中心でこんなに長い距離は泳げません。夏休みに長い距離を泳ぐことができ、体を鍛え泳力が育まれます。8日間のプールで、少ない日で前後半あわせて106名、多い日で133名になり、8日間の延べ人数は957名となりました。保護者のみなさまの水泳監視のご協力のたまものです。ありがとうございました。

いじめ実態調査から

連日報道されている「いじめ」の問題について、国からも実態調査を行うとの報道もなされました。本校では、報道を深刻に受け止め、7月に全児童に下記の質問事項でアンケート調査を行いました。

アンケートはみなさんが明るく楽しく学校生活をすごすことができるようにするため、「その子がいじめと感じたら、それはその子にとって『いじめ』である」と考えています。今、自分や、または自分たちの仲間(他のクラスや学年も含め)の中に『悪口をいわれたり、「きもい」とか「うざい」とか「死ぬ」などといわれたりする。・遊びや勉強のとき、仲間はずれにされる。・友達から無視される。・からかわれたり、バカにされたりする。・自分の持ち物を隠されたり、こわされたりする。・たたかれたり、けられたりする。など。』があったら書いてください。

- 1 今いじめを受けている人は、その内容を書いて下さい。2 最近、友達をいじめてしまったことがある。
- 3 自分以外の友達に対するいじめを見たり、聞いたりしたことがある。と3つの質問について記入してもらいました。

以上の調査の結果、子どもたちの中から、「誰とでも話すことができるのでいじめはないと思う。」と答える子どもがいます。学級によっては、日常生活の中で「口げんか・言い合い。」「返事が返ってこない」など、不安や不満を感じている答えもありました。現在のところ、報道のような大きないじめのような記述はみられませんが、友人関係のトラブルや誤解が不信を生み、悪口・からかいのような状態に発展してしまったとの記述もありました。そのような姿を見て、自分はずまく動けないが良くないことであると感じている人権感覚豊かな子どももいます。

以上の状態から、「その子がいじめと感じたら、それはその子にとって『いじめ』である」と考える本校にも「いじめ」はあると認識し、これからも子どもたちの様子をきめ細かく見つめながら、みんな元気で学校に登校できるように心を配れる学校にしようと考えています。そのため、いじめや生徒指導上の問題などに関わって、気になる情報は直ちに職員が共有し対応します。加えて、普段から職員が子どもたちに明るく接するように努め、子どもたちを一人の人間としてよりよい集団作りに努めたいと調査から感じています。保護者におかれましても、子どもの様子・言動で不安なことがございましたら、担任・学校へご連絡いただき、関係者で話し合いよりよい方向を求めること通して、安心して楽しい学校づくりを進めたいので、引き続きご協力をお願い致します。